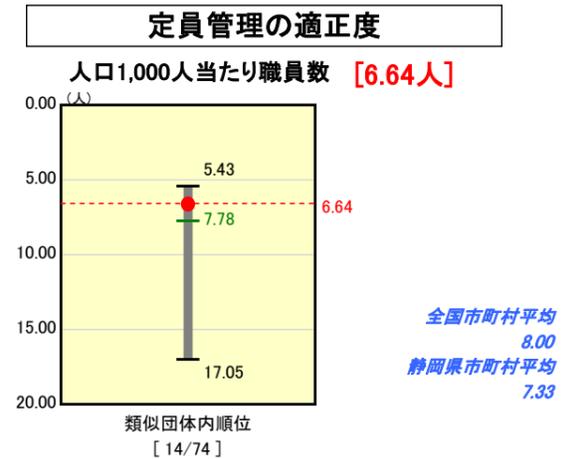
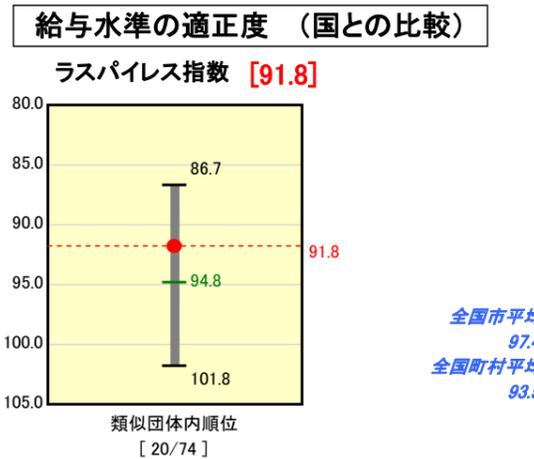
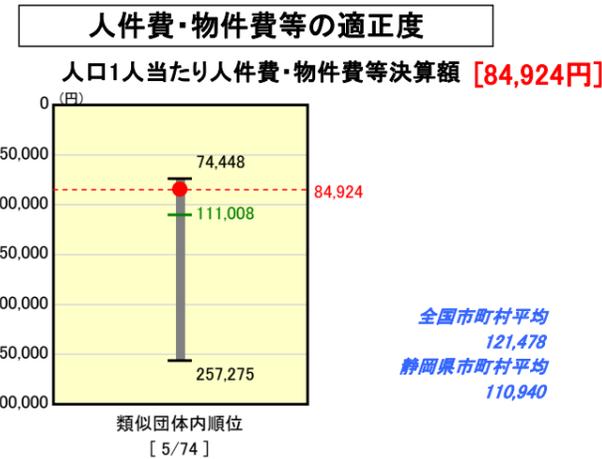
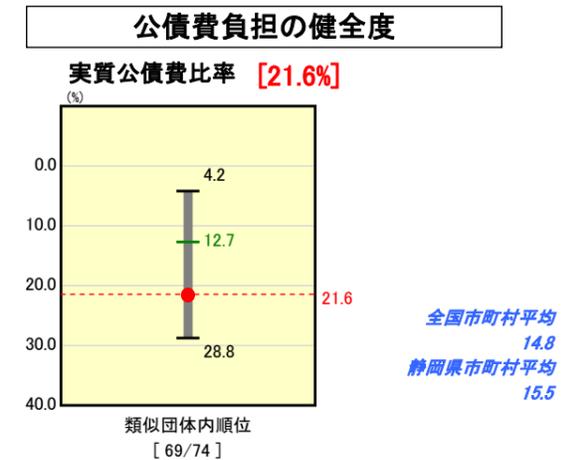
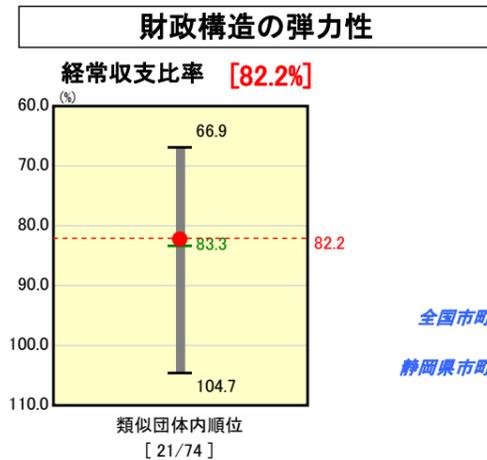
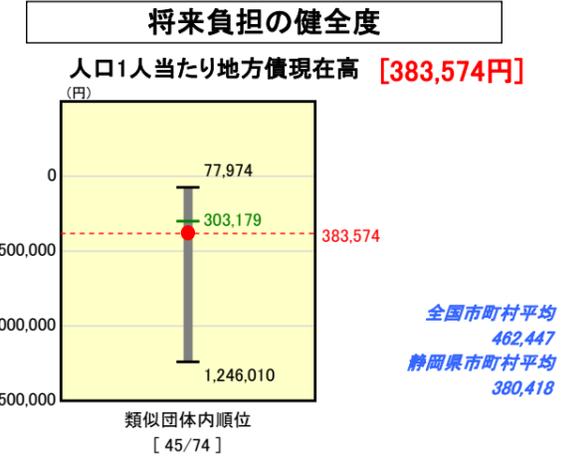
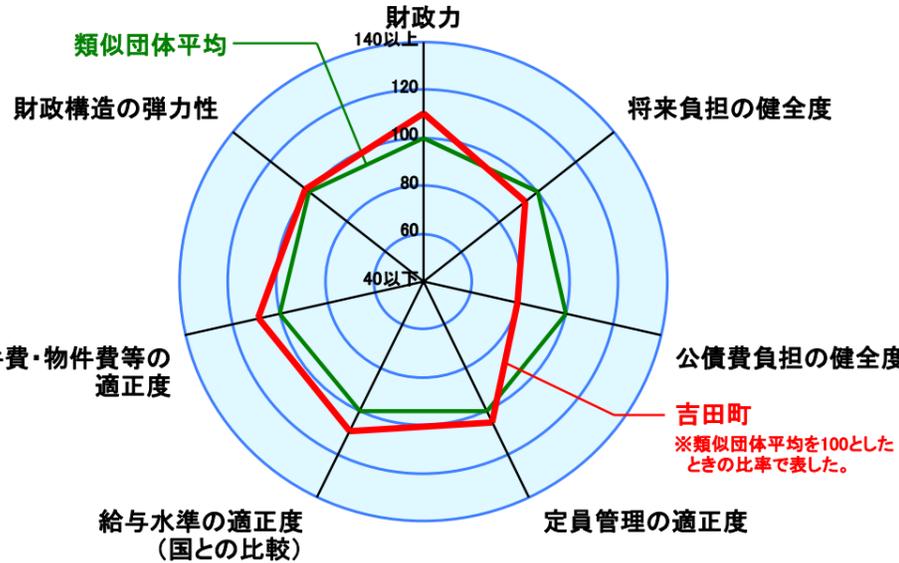
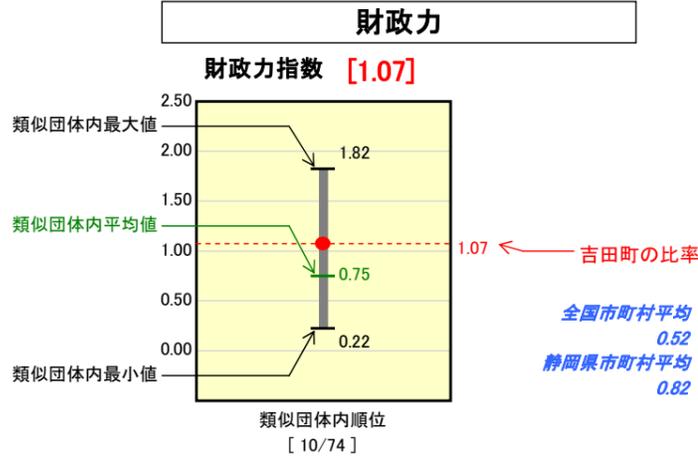


市町村財政比較分析表(平成17年度普通会計決算)

静岡県 吉田町

人口	28,460人	(H18.3.31現在)
面積	20.84	km ²
歳入総額	9,219,547	千円
歳出総額	8,595,102	千円
実質収支	560,634	千円



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

財政力指数

財政力指数は1.00を前後していたが、平成15年度に不交付団体になってからは、町内に所在する大手企業の設備投資などによる税収にささえられ堅調な伸びを見せている。今後も税徴収率の向上や、企業誘致などにより税収の確保に努める。

経常収支比率

類似団体平均値はわずかに下回っている。平成16年度からすべての事務事業についてゼロベース検証を実施し経常経費の削減を進めており、平成17年度はこの見直しの効果が現れてきている。また、平成19年度予算から枠配分方式を採用し、限られた予算の中で効率的かつ効果的な予算編成を目指している。今後とも財源の確保に努めるとともに事務の効率化などにより経常経費の削減に努める。

ラスパイレス指数

例年に比べて職員が大量に退職したため、類似団体平均からは依然低い指数となっている。他方、ラスパイレス指数の低下している要因が中間管理職に見られることから、職務・職責に応じた適正な給与の反映が図られるよう、給与水準の改善を図る。

実質公債費比率

道路、公園等の社会資本整備に加え、平成2年度からは公共下水道の整備を推進してきたため、21.6%と類似団体平均を大きく上回っている。平成18年度は繰上償還を実施したが、今後も継続して実施し、地方債の借入抑制とともに税収の確保に努め、18%未満とすることが急務である。

人口1人当たり地方債現在高

平成18年度に保育園や小学校体育館などの建設事業が終了し、平成19年度からは地方債の発行を大幅に抑制する計画である。今後は計画的な基金の積立などにより、地方債に依存しない事業の実施に努める。

人口1,000人当たりの職員数

町内への大手企業進出に伴い、人口が増加しているものの、類似団体と比較すると下回っている。行政需要に対応した組織のスクラップ・アンド・ビルドなどの各定員適正化手法を効果的に組み合わせ、定員の適正化に努める。

人口1人当たり人件費・物件費等決算額

類似団体平均と比較して、人口1人当たり人件費・物件費等決算額は低い水準にある。これは、ごみ処理業務、消防業務、学校給食業務などを一部事務組合で行なっていることが要因であり、今後これらの経費についても削減に努める。